

天皇誕生日レセプションにおける対日直接投資増大に向けた取組及び日本産食品への理解深化 (コロンビア)

在コロンビア大使館

日時

実施日時：①2026年3月12日 ②同24日

実施場所：①大使公邸 ②ハベリアナ大学講堂

対 象：行政機関関係者、商業関係団体、企業・個人事業主・学生等

開催規模：①約500人 ②約200人

概要

- ・ 当地の経済界関係者、食品輸入審査機関関係者、食品業界関係者が多く集まる機会を捉え、対日直接投資の成功事例の紹介、JETRO支援の紹介、日本食品の試食会を行った。
- ・ ②においては、日本産品の輸入販売等で一定の成功を収めているコロンビア人経営者等を講師に迎え、パネルディスカッションを行った。
- ・ 日本酒のプロモーションにおいては、産地や生産工程についての解説を行い、理解促進に努めた。きな粉もち、ういろう等当地でなじみのない日本食については、コロンビア人スタッフから味や製造方法の説明を行い、試食を促した。

効果

- ・ ①②合わせて、のべ約400人が日本酒の試飲、のべ約500人が日本食の試食を行い、約200人が対日直接投資に関する事例を聴講した。
- ・ 日本酒は、純米吟醸、濁り酒ともに好評であり、緑茶は食事と合う、苦すぎなくてよいとのコメントがあり好評であった。
- ・ 食品は、にぎり寿司、おにぎり、コロッケ、抹茶風味の飴、チョコレート、たいやきは定番の日本食として好評であった一方で、ワサビ風味のおかき、きな粉もち、ういろう（抹茶風味）も、比較的抵抗なく試食され、また2～3回リピート試食される姿が見られた。



日本産農林水産物プロモーションのためのレセプション（ジャマイカ）

在ジャマイカ大使館

日時

実施日時：2026年2月12日（木）
実施場所：ACホテル（キングストン市）
訴求対象：現地政府関係者、外交団、企業関係者など
開催規模：約300人

概要

- 日本産農林水産物プロモーションのためのレセプションを、天皇誕生日祝賀レセプションと同時開催し、日本産水産物および日本酒の提供、日本の文化・観光等を紹介するパンフレットの配布を実施し、ジャマイカにおける日本の魅力発信および食文化の理解の促進を図った。

効果

- 開始直後から来場者による長蛇の列ができ、日本水産品を用いた料理は非常に美味しいと好意的な反応を得た。
- 特に寿司コーナーでは、公邸料理人による握り寿司のデモンストレーションが行われ、大変賑わった。
- 今後の日本産水産品や日本酒の利用・輸入拡大につながる可能性がうかがえる有意義な機会となった。



日本企業（日本酒）の販路拡大支援（ニカラグア）

在ニカラグア大使館

日時

実施日時：2026年3月20日（金）
実施場所：大使公邸
訴求対象：現地政府関係者、現地流通・外食関係者等
開催規模：約50人

概要

- 現地政府及びアルコール流通・販売・外食分野の現地企業に対して、現地進出を検討する日本企業（大和川酒造）の製品（日本酒）をPRする試飲会・レセプションを実施。
- レセプションでは日本企業関係者が直接現地流通・販売・外食関係者と接触する機会を設け、当館がその支援をすることで、その後の商談につなげる可能性を追求。

効果

- 日本酒試飲会では、日本企業の海外展開の主力となる製品を含めた複数の日本酒を提供し、現地アルコール流通大手企業や有名レストランから同製品の現地輸入・販売・レストランでの使用に関する積極的な関心が示された。
- 試飲会・レセプションには、政府系メディアの要職に就く大統領子息や観光庁長官などの政府要人が参加し、関係構築の機会となった。

特記事項

- 本事業によってアポが成立した日本企業と現地企業との商談が進んでおり、日本企業のプレゼンス拡大及び二国間経済関係の更なる深化が見込まれる。
- 本事業において、当館の在外公館料理人を活用した。



日本の魅力を発信する機会を活用した多層的な人脈構築（パラグアイ：エンカルナシオン）

在エンカルナシオン領事事務所

日時

実施日時：2026年2月13日（金）20:00～22:00

実施場所：レストラン・グリーンパーク

訴求対象：現地地方政府関係者、企業関係者幹部等

開催規模：約60人

概要

- イタプア県地方政府及び同県の主要現地企業の幹部を招き、日本酒及び日本食をPRする夕食レセプションを開催した。
- 同レセプションでは、日本酒の製法、種類、歴史、各銘柄につき、専門家（日系人）による説明を実施し、各銘柄（5種類）の試飲を順次行って、参加者の関心を大いに高めた。

効果

- 本使の挨拶にて、最近の日・パラグアイ関係の発展、本レセプション開催の意義、国際園芸博覧会の紹介等行い、我が国に対する理解を促進した。
- 参加者からは日本酒の醸造や各銘柄について多くの質問がなされる一方、本使公邸料理人が調理・紹介した天ぷらをはじめとした日本食も好評を博した。
- 同レセプションには、イタプア県知事や市議会議員、農工業を中心とする企業幹部、当地主要大学学長など約60名が参加した。

特記事項

- 本年（2026年）は日本人パラグアイ移住90周年を迎えるところ、本イベントを契機に、地方都市を含めた日・パラグアイ関係の強化を明確に示す良い機会となった。



ブラジル全国寿司組合等による日本産食品・農林水産物(マグロ)の魅力発信イベント (ブラジル・サンパウロ)

在サンパウロ総領事館

日時

実施日時：2026年2月26日（木）

実施場所：総領事公邸

訴求対象：現地政府関係者、当地日系企業、日系団体等

開催規模：約370人

概要

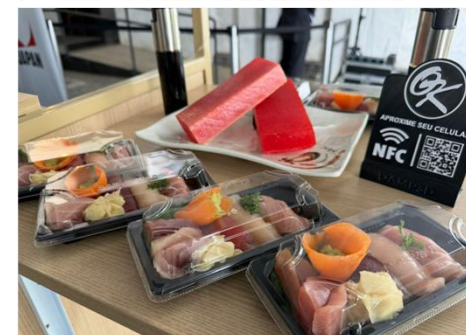
- ブラジル全国寿司組合等による日本産マグロ等を使った日本の食品・農林水産物の魅力発信レセプションを実施
- 提供企業から日本の冷凍輸送技術について紹介するとともに、日本食普及の親善大使（アンドレ・カワイ）氏から日本産マグロの魅力紹介及び寿司の握り実演を行った
- また、JETROによる日本産米パックライスの紹介、サンパウロの有名レストランによる日本食の提供、当地日系インポーターによる日本産酒類の紹介・試飲会も行った

効果

- 本イベントでは日系・非日系ブラジル人を含む多くの官・民・団体関係者に日本産水産物を美食いただき、日本産マグロの“脂の乗り”や“鮮度”の違いを実感したという声などが聞かれた。

特記事項

- 2026年にはブラジル3人目となる日本食普及の親善大使が新たに任命され、同氏等を活用したさらなる日本産食品・農林水産物輸出拡大にむけた日本食普及活動強化を見込む。



ミナス日本祭りにおける訪日観光促進ブース（ブラジル）

在リオデジャネイロ総領事館

日時

実施期間：2026年3月13日(金)～15日(日)
 実施場所：Expo Minas（ミナスジェライス州ベロオリゾンテ市）
 訴求対象：州・市政府関係者、当地ビジネス関係者、一般来場者等
 開催規模：約4万1千人

概要

- ミナスジェライス州最大の日本関連イベント「ミナス日本祭り」において、**訪日観光促進ブースを出展**し、来場者に日本の多様な魅力を感じる機会を提供。
- 同ブースで**日系旅行業者のPR**を行うことで、日本企業の広報活動を支援。
- 日本の多様な魅力の一つとして**日本酒試飲コーナーを設置**し、日本の食文化への理解促進を図る。

効果

- 3日間で**約1,600名**が本ブースに来場。
- 来場者に実施したアンケートの**総合評価は4.9**（5段階評価の平均値、回答者数691名）。
- アンケート中、**約40%**が「**日本の地方にも行ってみたい**」と回答し、**地方誘客への効果を発揮**（複数回答有り）。
- アンケート中、**90%以上**が**日本酒をまた飲みたい**（又は**買いたい**）と回答し、**日本酒市場拡大に寄与**（5段階中、最上位及び上位の回答数の割合）。
- 日系旅行業者の説明を熱心に聞く来場者が多く、同旅行業者が「**他の同種のイベントに比べ手応えを感じた**」と述べており、**日本企業の顧客創出に貢献**。

特記事項

- ミナスジェライス州は山梨県と姉妹県州関係にある。
- 本ブースでは、**山梨県の協力の下、同県のPRを実施**したことで、**同県州の友好関係の深化及び同県の観光誘致・海外発信事業に貢献**。



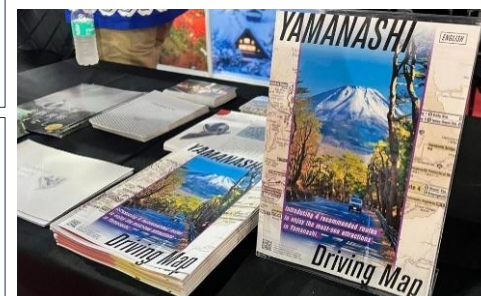
訪日観光促進ブース



日系旅行業者による観光案内



日本酒の試飲



配布した山梨県パンフレット

日本酒・園芸博PRレセプション（ペルー）

在ペルー大使館

日時

実施日時：2026年3月18日（水）
実施場所：大使公邸
訴求対象：レストラン関係者、政府関係者、インフルエンサー等
開催規模：約40人



集合写真

概要

- 現地にて日本酒を販売している小売業者と連携し、レストラン関係者に対して直接売り込む形式のレセプションを開催。
- また、併せて園芸博の機運醸成のため、政府機関関係者やインフルエンサーに対し、紹介映像を放映しPRを実施。



日本酒プレゼンテーション①

効果

- レセプションの中で、各社のプレゼンテーションを行ったことにより、レストラン関係者に対して日本酒を直接的にPRすることができた。
- 園芸博についても、周知を図った。特にインフルエンサーが関心を示していた。
- 今回のレセプションにおいては、インフルエンサーを招待することにより、発信効果を高めることができた。具体的には、翌日までにレセプションに関する複数の投稿が行われ、延べ20万人を超えるフォロワーに対する日本酒・園芸博のPRとなった。



日本酒プレゼンテーション②



園芸博に関する説明の様子

農林水産業・食品産業の「海外から稼ぐ力」の強化を目的としたレセプション（メキシコ）

在メキシコ大使館

日時

実施日時：2026年2月18日（水）

実施場所：在メキシコ大使館公邸

訴求対象：現地政府関係者等

開催規模：約400人

概要

- ・農林水産業・食品産業の「海外から稼ぐ力」の強化を目的としたレセプションを天皇誕生日祝賀レセプションと併せて開催したことで、ゴンザレス墨外務省アジア太平洋局長、日墨友好議員連盟のグティエレス議員等の多くの要人、農業・農村開発省関係者等の出席があった。
- ・さらに、今回のプロモーションには、宮城県及び福島県からの出展もあり、宮城県及び福島県の農産品も含めてプロモーションを実施した。
- ・JETROからは、日本産米、日本産水産品の紹介に加え、対日投資促進のPRも行った。当地のカマラ観光連絡会の協力のもと、2027年開催の園芸博覧会の参加について周知を行った。

効果

- ・日本産食品のブースには、多くの来場者により長蛇の列が作られ、イベントの終始とぎれることなく、現地政府関係者等に日本食の品質の良さを披露できた。また、現地インターネット情報サイトInfobaeでは、メキシコに日本食レストランが7,000店舗以上存在していること、日本から輸入された食材を利用した料理を参加者が味わった旨が報じられ、メキシコ国内に改めて日本産食品を周知できた。

特記事項

- ・2025年のメキシコからの訪日客数は、20万人を超え、統計を取り始めて以降、最多となっており、メキシコにおける日本への関心が高まっている。

